

# 6月議会

# 入学準備金、大きく前進

日本共産党の質問への答弁で



いま、西宮市議会6月定例会が真っ最中です。本会議一般質問では日本共産党から3名が登壇しました。

27日には庄本けんじ議員が、生活保護世帯と同程度の所得の家庭(準要保護世帯)に給付されている就学援助金のうち、入学準備金について質問しました。

3月議会での私の質問で、

## 日本共産党

# 上田さち子です



2017. 7. 1号

(発行)

日本共産党市会議員  
上田さち子  
川添町五、十八  
電・三五二二八一三

市教委は、新小学1年生にも入学前支給を「前向きに検討する」と述べるとともに、文科省が示した入学準備金増額についても「全庁的に検討したい」と表明しました。

## 新小学1年生も3月支給へ



現在入学後の7月支給となっている問題では来年、新中学1年生になる生徒へは入学前の3月支給へと市の教育委員会が表明。今回はさらに、新小学1年生も入学前の3月支給をと求めました。

## 引き続き、建設常任委員会でごんばいます

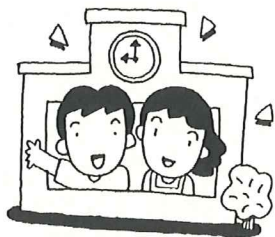
これから1年間、委員として、建設委員会の委員として、水道問題、土木問題、下水道問題、議会、議員、土下し。



この間、日本共産党西宮市議団が連続して本会議質問で取り上げるとともに、日本共産党国会議員団も「入学準備金」制度の拡充に力を尽くしてきたことなどが生きて実現してきたことをうれしく思います。実現へさらに。

私のブログ「上田さち子とコーヒータイム」を更新中です。ぜひ、訪問して下さい。お待ちしております。

## 中学校における「男女混合名簿」



市議会の一般質問で、新議員が、中学校の名簿が今年から「男女混合名簿」になったことを取り上げ質問しました。

すでに小学校や高校では「混合名簿」で、あいうえお順に男子も女子も混合になった名簿で対応。そして中学校でもこのやり方になったのです。

S市議は「混合名簿」が気に入らないらしく、男子が先で女子があとの男女別でなくなったことを「一部の活動家などの影響?」をとらえ、市教委の見解を聞きました。

私も過去何回も文教委員会などで、男女平等の観点から、「混合名簿」をと求めてきました。

ようやく中学校でも、先生方が協議した結果「混合名簿」になり、ともに対等に学びあえる環境ができて良かったと思っています。

たかが名簿、されど名簿ですが、みなさんはどうお考えでしょうか?

## 国の政治は、安倍晋三夫妻のためにあるんじゃないですよ!

出会う人ごとに「安倍ってひどいねえ」と声をかけられます。もちろん、森友学園問題や加計学園問題での、安倍晋三夫妻の国政の私物化に、多くのみなさんが心から怒っておられることから。

自分の親しいお友達のために、国民が納めた税金を使い政治をゆがめていることに、何の説明責任も果たさず、日本共産党など野党が一致して真相解明への「臨時国会」招集を求めても拒否。



もはや独裁者の振る舞いで、追及されたら「加計以外にも獣医学部をつくっていく・・・」と、支離滅裂な口から出まかせに終始。

## 憲法改正は秋の臨時国会に提案!

憲法9条に「自衛隊」を書き込むとして大問題になっていますが、自民党内をまとめて秋の臨時国会に提案すると表明しました。

戦争する国づくりを進めた安倍首相ですが、多くの識者からは「追いつめられた者の焦り」と指摘します。

この間の調査でも、内閣支持率が軒並み急落しており、崩れたら早いのではと言われている者として、地方政治にかかわる者としても、独裁政治を終わらせたい。